

卒塾生からのメッセージ

2023年度熊本県・市教員採用試験最終合格者

I. 一次試験合格の要因を教えてください。

II. 二次試験対策について

(1)どの時期から始めることをお勧めしますか? (2)最も力を入れた対策は?

(3)試験を受けてみて、最も重要だと思う対策は? (4)二次試験合格の要因を教えてください。

III. これから受験する方へのメッセージやアドバイス、壺渓塾についてコメントをお願いします!

熊本県小学校 戸羽 駿介

I. 1月から大学の図書館を利用して友達と一緒に勉強した。エンドレスをひたすら解いて4月の実習前まで全教科科目はある程度仕上げた。実習後は、教科(特に副教科)を中心に勉強の場所を変えながら学習を続けた。とにかく後半は苦手なところだけを集中して勉強した。

II. (1)4月～5月(2)面接対策(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)二次試験は面接の配点がとても大きいので、面接に力を入れた。特に面接シートの内容から聞かれるため、面接シートは1月から第一次の勉強と並行で行った。他の人の面接や模擬授業は積極的に見に行って、良いところはマネをしました。

III. 入塾して一番のメリットは、一緒に頑張る仲間をつくることができると思った。特に二次対策は大学のサポートよりも圧倒的に良かったと思う。夕方から夜まで教室を使うことができたため、模擬授業の練習のために何度も使った。来年からは採用の人数が減ると予想できるため、早めに対策しておくことをオススメします。



熊本県小学校 藤本 みなみ

I. 全科と教職、2つ科目があるので、両方を並行して進めていくことが重要だと思います。内容も、全教科を学習することに加えて、学習指導要領や教育原理・心理・法規など新しく学習しなければならないものも多いです。だからこそ、なるべく早く学習を始めることが、友人と一緒に学習して教え合うことも合格に繋がります。分からないところがあれば、必ず解決、できればその日に分かるようになることを徹底していました。自信をもって臨むことが一番です。

II. (1)4月以前(2)面接前調査票(面接カード)作成(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)とにかく友人と協力して準備することです。第二次は確実に個人よりもチームで戦った方が有利です。面接や模擬授業は、お互いに見合って、人の良いところは盗んで、もつともなるところはアドバイスして、一緒にレベルアップできます。何よりも大切なのは、面接カード作りを丁寧に行うこと。できれば、10月くらいから取りかかるといいです。自分とゆっくり向き合って、本番の頃には何を聞かれててもぶれない軸をもった自分で挑めるはずです。たくさん夢をもって語ること!



III. 私は、本当に入塾して良かったと思っています。教採は他の試験や就活と違って団体戦です。仲間と一緒に学習して良いところを盛りだり、アドバイスしたり、悩んだり、それがなければ合格できません。先生方も熱心にご指導くださいます。面接や、模擬授業対策では、いろいろな人の時間を見学できます。現役も臨塾の方も関わらず、交流することができるのも壺渓塾の魅力の一つだと思います。ですが、塾に頼りきりではありません。塾を活用するには自分で考えて勉強することも必要です。自分の苦手や一次と並行してある程度、二次も進めておくことなど、常に自分の時間の使い方、効率を考えることも必要だと思います。言われたこと、決まっていることだけをこなすのではなく、自信をもつところまでには繋がらないはずです。たくさんの先生との出会い、仲間との出会い、よく考えられた教材、カリキュラム、たくさんのステキな要素がつまっている塾だと思います。ぜひ、入塾して、仲間と一緒に夢を叶えてほしいと思います。ここで出会えた仲間とはこれからも一緒にがんばっています。残り1年、がんばってください!

熊本県中学校保健体育 田崎 弘之介

I. 分からないことや自分自身で考えても答えが出ないことが多いと、すぐに分かることに聞いて答えを導き出すことができることが要因だと思います。4年間、長野先生から指導していただいた結果もあると思います。

II. (1)4月～5月(2)論述対策(3)論述対策、模擬授業対策(4)論述は一日1本(書けるなら2本)を目指にたくさん書きました。面接も模擬授業も塾はもちろん、たくさんの先生方の元へ出稽古に行って数をこなしました。

III. とにかくあきらめず「自分は必ず受かる」という強い信念を持って取り組めば結果につながります。そして、何より教諭になってから自分のことを待っていてくれる子どもたちを常に頭の中にイメージしながら取り組みました。壺渓塾はEndlessやチェックリスト、講師陣の手厚い指導などが受けられて、実際の試験でも自信を持って臨むことができます。4年間、とても充実した試験対策を行なうことができました。ぜひ足を運んでみてください。応援しています。がんばってください!!



熊本県小学校 緒方 園美

I. 専門過去問を分析して、問題の難易度や問題の出し方を分析する。自分の苦手分野と学習すべきところを把握して効率的に学習した。学習指導要領:過去問分析、問題の出し方をつかむ。塾の問題集を何度も解く。必ず、問題に出たところは指導要領を確認する。これを繰り返しました。問題集はボロボロになりました。

II. (1)4月以前(2)面接前調査票(面接カード)作成(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)面接前調査票を作成するために、自己分析をしきりに行なったことが良かったと思います。自己分析をしておくと、面接で何を尋ねられても大丈夫だと思います。また、塾の面接対策が大変に立ちました。自分の良いところも考えていただけたので、モチベーションアップになりました。他の方の面接を見学することもないと私は思いました。話し方、声の大きさ、所作など非常に参考になります。他の塾生と一緒に面接練習するのもよかったです。

III. 壺渓塾の講義は合格に直結していると言っても過言ではありません。私のような民間企業出身者で、かつ臨探しながら試験準備ができるのは塾のおかげです。独学で合格は無理だったと思います。壺渓塾の講義はとてもわかりやすいです。講義に出席して復習すれば必ず力がつきます。しかも、塾で学んだことは試験だけでなく教員になっても役に立ちます。そして何より先生方が優しくときめいて指導してくださったおかげで合格できたと思います。事務スタッフの方も親身になって話を聞いてください、支えていただきました。これらの塾の手厚いサポートと、あとは自分の教師になるんだという思いがあれば、合格はぐんと近づいてきます。

熊本市小学校 山口 瑞生

I. エンドレスを何度も解いたこと。授業を受けること。周りの友達同士で問題を共有すること。

II. (1)4月以前(2)面接対策(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)面接カードに書く前に、塾で配られたプリント(作成シート)に力を入れたこと。友達と面接練習、模擬授業の練習をしたり、なるべく多くの人に練習をしてもらつたこと。面接では強みだけでなく、自分の弱みも隠さず伝えることを意識したこと。

III. 壺渓塾では、試験対策はもちろん、周りの人たちと一緒に頑張れる環境がとても良かったです。また、先生方も親身になって相談に乗ってくださいました。入塾して良かったです。迷っている方はおすすめします。



熊本市中高美術 山下 智愛

I. エンドレスを全て終わらせること。回数を重ねるとスピードがある。見たことのある単語や言い回しが増え、暗記しやすい。私は勉強が苦手なため、ノートや裏紙にひたすら書いて暗記をした(法規など)。人物や心理はカタカナが多いので、音とイラストや図で覚えた。自分で描くのも覚えやすい。専門(美術)は文章で答えるため、知識をつけること。体験できるものは自分でやってみる。難しいものは動画やサイト(特に美大・画材屋のサイト)を見て、映像として覚えた。

II. (1)4月以前(2)面接前調査票(面接カード)作成(3)模擬授業対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)面接カードが大切。私は自己PRがなかなか書けなかった。色々な人と話したり、聞いたりして自分でを知る。面接練習は何度も行つ(苦手な人に対してもらうと本番も楽)。他の塾生の面接対策を見学できるものは全て見る。アドバイスも自分に言われていると思って聞く。良いところはまねる。模擬授業の練習は何十回もすること。板書の完成したものを作っておくと、流れで覚えられる。様々な人に見ていただくこと。専門の先生、専門以外の方にも見てもらうと様々なアドバイスがいただける。一人でも動画をとって練習すること。



III. 仲間がいる安心感。一人で勉強していると統かないが、仲間がいると頑張れる。情報も共有でき、アドバイスしある。緊張感もあるので、気が引き締まる。先生方が親身になって教えてアドバイスをして下さる。頑張りたい気持ちに応えて下さる。失敗や間違えていい空気があるため、安心して学べる。一人じゃ勉強が続かない人、情報量が足りていない人におすすめ。特に面接練習(他の人を見学できることがすごく良い。また、Zoom参加できるのも良い。私は臨探2年目の1月入塾生です。平日は仕事があるため、土曜日として入塾し、勉強をしました。最初は仕事を理由に勉強をしていませんでしたが、先生方や仲間に相談することで、最後までやり遂げることができました。二次対策の面接カード作成では、自分のことなのに、全く長所が書けずに困っていましたが、先生と面談を続けるなかで、自己を見つめ、自分のセールスポイントにも気付くことができ、自信がつきました。また、自分以外の面接や模擬授業を見学でき、勉強になりました。相談できる先生や仲間がいて、力をつけることができる場所です。

熊本県特別支援学校(学級)専願 木下 穂南

I. 熊本県のこれまでの問題の傾向をつかんでから取り組むようにしたところだと思います。その中で、自分にとて苦手、覚えにくい部分に関しては何度も問題集を解き直し、分かりやすいように別のノートや付箋にまとめて、後から見返しやすいようにしていました。また、穴埋め問題でも文章で答える問題でもしっかりと対応できるように、重要な単語の説明や6区分27項目については、一言一句間違わないように、繰り返しノートで書いていました。その他にも、大学の友だち等周りの人と情報を共有していたこともとても大切だと思います。

II. (1)6月(2)論述対策(3)論述対策、面接対策(4)私自身、これまで小論文を書いた経験がほとんど無かったため、書き方にについて先生に聞きながら慣れるようになっていました。論文に関しては、前日に練習していた大阪の過去問(頂いていたプリントで確認していました)と似たものが提出されたので、迷わず書き進めることができたことが良かったです。面接に関しては、壺渕塾と大学で、1日に数回練習できたことがとてもありがたかったです。色んな先生方に対応して頂けたからこそ、色々な質問に対してすぐに答えることができるようになったのだと思います。

III. 私は、大学受験で浪人時期も含め7回不合格を経験しており、合否に関わる試験が本当に不安で嫌でした。そのため、今回の教員採用試験に対しても不安だったので、少しでも自分は頑張れた。大丈夫という自信が持てるようになりましたが、4月から入塾しました。壺渕塾では、現職の先生方や大学の先輩と一緒に学習をしたり、週一のテストを受けたりすることができたからこそ、色々な話を聞くことができ、もっと頑張ろうと取り組むことができました。また、たくさんアドバイスを頂くこともできました。これは壺渕塾で学習しているからこそできただと思うのです。その他にも、私は現在、特別支援学校でボランティアをしているのですが、壺渕塾にいらっしゃった先生と会った際に声をかけて頂きました。私は、試験勉強の期間を通して、頑張りすぎないことは大事だと実感しました。なかには、何もしない日、好きなことをして過ごす日、勉強とは全く関係の無い話題で大学の友だちと笑って過ごす時間、これらが本当に大切だと思います。友だちと試験について話していると、どうしても焦って気持ちに余裕が無くなってしまうこともあります。そこで焦ったまま取り組むのではなく、一度落ち着くことのできる方法を見つけておくことも大切だと思います。



熊本県養護教諭 渡邊 夏帆

I. 効強したこと毎回復習していました。教職教諭はエンデレスで間違えた法令や条文などを書き写し、回数を重ねるごとに間違えやすい問題が分かれるようになっていました。当日すべに不安な問題を見直して安心できることも一つの要因だと思います。専門はマニュアルをとにかく読んで覚えているかを確認しての繰り返しでした。「知らないことが絶対にないようになります」と思って納得して覚えるまで復習していました。

II. (1)4月～5月(2)面接対策(3)論述対策、面接対策(4)壺渕塾で毎日面接を見学したことだと思います。私は現場の経験がなく、実習にも行ったことがなかったため、より現場で働くイメージをつかむために経験豊富な先生方の体験談や失敗談を聞くことが一番でした。他の塾生の方の良い回答を参考にしたり、臨場経験がある塾生の方に現場のことについて質問したりすることで具体的な回答を作ることができたなど実感しています。

III. 壺渕塾でよかったなと思うことは、①同じ目標を持つ仲間に出会えたこと、②相談しやすい環境が整っていることです。①については、教諭を受験するための勉強は本当に苦しかったけど、仲間と一緒に励ましあったり、助けあったりしたことで最後まで頑張ることができたと思います。②については、壺渕塾は明るい雰囲気で先生方や事務のスタッフの方が塾生に明るく接してくださいます。そのため、不安や悩みも相談することができたので安心感にもつながりました。これから受験するみなさん、自分を信じてぜひ壺渕塾で頑張ってください!



熊本市養護教諭 金丸 華子

I. 早い時期から過去問に取り組み、根拠を答えられるまで繰り返しやり直しをしたことだと思います。自分がおさえられていなかった法律や、参考資料を読み込む機会になり、その分、初見でも答えられる問題が増えました。また、塾では、特に重要な資料が用意されるので、とても助かりました。その資料から、当日の試験に出たものもいくつもあったので、授業をしっかりと受け、全ての資料に目を通すことが大切だと感じました。

II. (1)4月以前(2)模擬授業対策、面接対策(3)面接対策(4)論述も模擬授業も面接もどちらにかく色々な人に見てもらうことだと思います。塾では、先生や塾生に見てもらい、自分も、塾生の授業や面接を見せてもらいました。また、臨校採の管理職や担任等にも見てもらい、色々な視点からアドバイスをもらい、改善してきました。特に夏休みは、昼間は学校の先生方からの指導、退勤後は塾で論述のやり直しや復習といふように、毎日を悔いのないように過ごしました。

III. 私は、昨年度は4月から入塾ましたが、臨探との両立が難しく、なかなか勉強時間が確保できず、不合格でした。今年度は、業務がまだ落ち着いている1月から入塾し、基礎知識から、丁寧に学ぶことができました。1人で1から試験対策の資料を探さずとも時間がかかりますが、この塾では、対策の資料が用意されていることもあります。とても効率よく勉強することができました。また、長いときは夜9時まで自習室が開いているので、退勤後でも十分に自習ができ、仕事との両立がしやすかったです。また、1月から面接カードの添削や論述、面接対策などもあり、本番まで心にいりをもって取り組みることができました。そして、何よりも私が感じたのは、「受験は団体戦」ということです。1月から同じ目標をもつ仲間たちと互いに学び合い、涙が出るような辛い時期も支え合ってきました。精神力も上がらし、たくさんの力、パワーをもらうことができました。これがなければ、私は、最後まで頑張り抜くことができないかったと思います。いつも笑顔で迎えて下さった壺渕塾の事務室の先生方と一緒に戦った仲間に感謝しています。初心を忘れずに、ピンチはチャンスにしていき、前進していきます。



熊本県特別支援学校(学級)専願 馬場 智幸

I. 壺渕塾の講義を大切にし、何度も問題集を解いたことが受かる要因になったと思います。講義はただ受けるだけでなく、事前に次の授業内容を予習したり、授業後に学習した内容をもう一度読み返して復習したりすることで、講義の問題集を解くのではなく、1冊の問題集を6回繰り返しました。間違えたところは何度も見返し、確実に解けるまで繰り返しました。

II. (1)4月以前(2)論述対策(3)論述対策、面接対策(4)早い段階での2次対策がかかる要因になったと思います。私は1月から2次対策として、論述・面接対策を行ってきました。論述では、2週に1本、テーマを変えて書き続けました。面接では、自分にしっかり向き合い、「どんな教師になりたいのか」「今までどんなことをしてきたのか」等を、時間をかけて振り返り、整理していきました。正直、そのときは「こんなに早くからしなくていい」という思いもありました。しかし、今考えると、早い段階での2次対策をしていたことが合格に繋がったかなと思います。

III. 壺渕塾に入塾しても「絶対に受かる」ことはないと思います。私自身、教員採用試験を8回受け続け、2次試験は4回目の受験でようやく合格しました。その間、壺渕塾に4年間通いましたが、通うだけで合格するなんてことは絶対ないです。最後は「絶対に受かりたい」という強い気持ちをもって努力ができるか、結局は自分次第です。ただ、その努力をするためのサポートとして、壺渕塾は最高の環境です。現場を経験されてきた講師陣による講義、シーケンチテス、面接前シート、論述・面接対策等、教員採用試験を突破するためのサポート体制が整っています。ベストな環境でどう合格を勝ち取るかは自分自身です。頑張って下さい。



熊本県養護教諭 前田 晴香

I. 臨探しながらの勉強でしたが、机に向かわないので作らないようにしていました。毎日少しでも机に向かい、コソコソ勉強しました。私は1冊を周もくほくはあまり向いていないので、3冊の参考書・問題集を自分のペースで進めていました。また、壺渕のシーケンチテスがとても良い刺激になっていました。自分の中では、平均点を超えることは大前提で、次は自分の点数が最高点として載ることを目指し毎回挑んでいました。試験直前には、シーケンチテスの総復習をしました。

II. (1)4月～5月(2)面接前調査票(面接カード)作成(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)とから、自分でしっかりと見つめ直しました。自分はなぜ養護教諭になりたいのか、や、自分の歩んできた道がどう生きが成されうなのか、を客観的に見つめるようにしました。また、面接ノートを作成し、壺渕の先輩方が残してくださった過去の質問事項とそれに対する回答をまとめました。そして何より、今年はいろいろな人に協力をもらいました。勤務校の管理職に論述や面接を見ていただいたり、小学校で勤務している友人に面接前調査票を読んでもらったり、質問されそうなことを考えてもらったりしました。



III. 同じ志を持つ多くの仲間に出会い、たくさん刺激をもらえることが、壺渕塾に来る最大のメリットだと思います。面接練習の、お互いに感想を伝え合う時間には、自分では気付くことができなかった自分の強みを教えてもらったり、自信を持つことができました。また、いろいろな人の面接練習を見学できるシステムがとても良かったです。初めは「人は見学したいけど、自分は見られてたくない」という気持ちがありました。実際は、上でも述べたように、自分はない視点で見てくれる人がいるので、見学するのもされるのものとも、とても勉強になりました。指導してくださる先生方も、専門的な視点でたくさん指導してくださったり、自信を持つことができるような指導をしてくださいました。また、面接前調査票を4月から添削していただけるのは、とてもありがたかったです。これまで、一次試験合格後にとりあえず書いて出すという感じだったのですが、4月から練習に繰りかぶることで、自分の納得のいくものを書いて提出することができ、自信を持って本番の面接に挑むことができました。

熊本市養護教諭 森 彩音

I. 1次試験合格の要因は、自治体の傾向を分析し、頻出問題を徹底して解いたことです。また、全国過去問題集を何度も解き(10回以上)、「学校保健の課題とその対応(2012年改定)」の冊子を見比べ、養護教諭として問われる問題を抑えました。試験直前には、苦手な分野や上記の冊子、法令を毎日確認することが合格につながったと考えます。そして、私は今回3度目の受験でしたが、試験に集中するために、上半期は大好きな教育現場から離れていました。思い切って、自分がすべきことに時間を十分に充てることも最大の要因だと思います。

II. (1)4月～5月(2)面接前調査票(面接カード)作成(3)面接対策、面接前調査票(面接カード)作成(4)二次試験合格の要因は、徹底して自己分析したことだと思います。1度、二次試験を受験した際に、もっと自分と向き合い、面接カードに力を入れるべきだったと反省したからです。塾で面接カード作成シートを記入するにあたり、自分のことや目指す養護教諭という職を何度も想い直しました。また、面接カード作成後には、塾の先生やスタッフの方だけでなく、高校時代の恩師、大学の教授、実習校の先生にアドバイスを頂きました。多くの方々に、初めてみて頂いて、どのような印象を受けるのか、また、どのような質問をしたくなるのかを尋ねて、訂正を重ねました。おかげで面接対策も基盤を整えた状態で臨み、自信をつけていくことができました。



III. 私は本当に入塾して、仲間と一緒に頑張ることができて良かったと思います。その理由として、多くのものを得ることができたからです。もちろん、「合格」という1番の目標を達成することができましたが、塾で1番得たことは、養護教諭を目指す仲間です。養護教諭は採用倍率も高く、狹き門で、もししかしたら塾生がライバルに思えるかもしれません。しかし、同じ職を志す者です。所属が違うても、必ずどこかで出会い協働できます。そんな仲間と出会い、一次試験の頃から叱咤激励し合い、支え合ってきてくださいました。休憩時間には、お菓子を配り合い、試験や仕事の話をしていました。そのような懐抜きもあつたからこそ、授業や自習に集中できました。また、私は大好きな教育現場を離れていたので、その間のリアルタイムでの学校の様子を知ることができ、とてもありがたかったです。同時に、働きながら日々勉強に励む同志の姿を見て、刺激をもらい、早く養護教諭として働きたいと思えました。このように、壺渕塾は、同じ職を志す素敵な仲間と出会い、互いに学び合える予備校です。一緒に頑張ってくれた仲間と経験豊富な先生方、いつも塾生を支えて下さったスタッフの方々に感謝致します。本当にありがとうございました。